

たかはしがわりゅういき い ものちょう さ 高梁川流域生き物調査2023

スマートフォンやタブレットを使って誰でも参加できます！



令和5年度の調査対象はカメです

- ・ミシシippアカミミガメ（通称ミドリガメ）が条件付特定外来生物に指定されました。
- ・飼っているミシシippアカミミガメはそのまま飼うことができますが、野外に放すことなどが禁止されました
- ・外来のカメが増える一方で、在来のカメが減りつつあるといわれています。私たちの高梁川流域のカメの分布をみんなで調べてみませんか

●参加対象：小学生～大人（小学生は大人と一緒に調査してね！）

●調査期間：2023年6月7日（水）～9月30日（土）

●調査対象：カメ

●対象地域：高梁川流域7市3町（浅口市、井原市、笠岡市、倉敷市、総社市、高梁市、新見市、里庄町、早島町、矢掛町）

調査の仕方

①家の近くなどでカメを探して、種類を報告してください

②報告いただいた結果は、地図上にプロットし、随時（週1回程度の予定）倉敷市のホームページで公表します

問合せ先：倉敷市環境リサイクル局 環境政策部 環境政策課

TEL:086-426-3391 FAX:086-426-6050

メール:eptc-np@city.kurashiki.okayama.jp

ホームページ:https://www.city.kurashiki.okayama.jp/38850.htm



▲ホームページ

たかはしがわりゅういき い ものちょう さ 高梁川流域生き物調査2023



調査票

- 調査期間：2023年6月7日（水）～9月30日（土）
- 調査対象：カメ
- 対象地域：高梁川流域7市3町
- 参加対象：小学生～大人（小学生は大人と一緒に調査してね！）

①調査した場所と環境

浅口市・井原市・笠岡市・倉敷市・総社市・高梁市・新見市・里庄町・早島町・矢掛町

■【住所】『 』

又は

■【施設名（学校・公園など）】『 』

■【どんな場所に】 田んぼ・池・用水路・河川・その他（ ）

■【調査結果】 ミシシippアカミミガメ・クサガメ・ニホンイシガメ・ニホンスッポン
その他（ ）・不明

②調査者の情報

■ニックネーム（※1） （※1）ニックネームはHPで公表します。

■年代 小学生・中学生・高校生 または、（10代未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代以上）

参考（問い合わせ用です。未記入でも可。）

■お名前

■ご住所

■メールアドレス

■電話番号

※お名前、ご住所、メールアドレス、電話番号は問い合わせ用です。公表しません。

★種類がわからない場合は、写真など送ってください。名前を調べるお手伝いをします。

○調査票が足りない場合には、コピーして使用してください。倉敷市HPでも調査票がダウンロードできます。

【報告先】倉敷市 環境リサイクル局 環境政策部 環境政策課

●インターネットで報告する場合→QRコード又はホームページ（URL：
https://www.city.kurashiki.okayama.jp/38850.htm）から入力フォームによる

●e-mailで報告する場合→eptc-np@city.kurashiki.okayama.jp

●FAXで報告する場合→FAX：086-426-6050

※わからないことがありましたら、お問い合わせください

問い合わせ先：倉敷市環境政策課（TEL：086-426-3391）

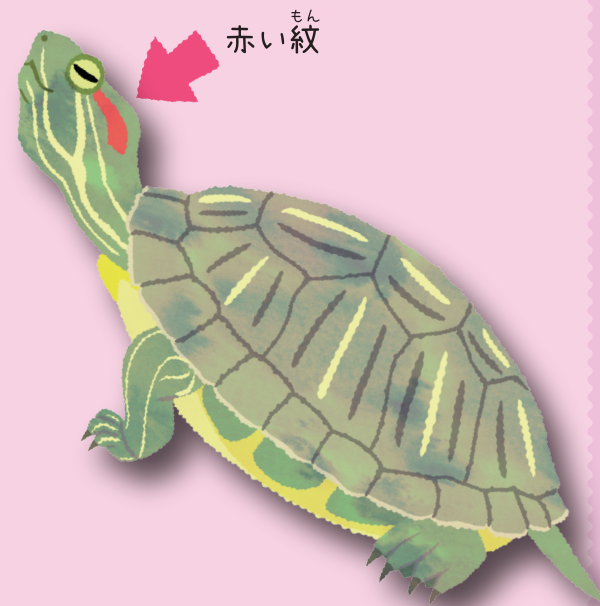


▲ホームページ



▲e-mail

条件付特定外来生物



ミシシippiaアカミミガメ (ミドリガメ)

- 生息場所：川や用水路、ため池、水田など
- 来歴：北アメリカ原産。ミドリガメの名前でペットとして持ち込まれた。飼育されていた個体を野外へ逃がすなどで野生化。
- 問題：ニホンイシガメとエサや住処をめぐって競合
- 見分け方：
 1. 頭の横に赤い紋
 2. 首や足に黄色い縞
 3. 甲羅に黄色と黒の縞
 4. 尾は短い
 5. 子ガメは緑色
 6. 甲羅は最大で28センチメートル
 7. 成長したオスは黒っぽくなり模様が消えることがある

クサガメ

- 生息場所：流れのゆるやかな川や用水路、ため池、水田など
- 来歴：江戸時代中期以降に朝鮮半島や中国から持ち込まれたと考えられる。
- 見分け方：
 1. 頭や首に黄色い模様
 2. 甲羅に3本の盛り上がり
 3. 甲羅は褐色から黒色
 4. 甲羅は最大で25センチメートル
 5. 成長したオスは黒っぽくなり模様が消えることがある



外来種

その他のカメ

- ペットとして持ち込まれたその他のカメが野生化している可能性があります。凶暴な種類もいますので、気を付けてください。
- ※特定外来生物のカミツキガメを見つけたら、環境省中国四国地方環境事務所が最寄りの市町へご連絡ください。



環境省レッドリスト準絶滅危惧 岡山県RDB絶滅危惧II類



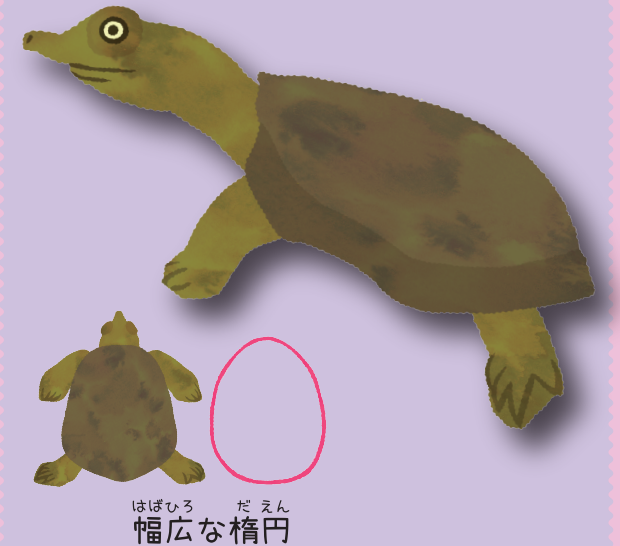
ニホンイシガメ

- 生息場所：やや流れのある川や山あいのため池、水田など
- 来歴：日本固有種
- 見分け方：
 1. 甲羅は黄色または赤っぽい褐色
 2. 甲羅の後ろ側がギザギザしている
 3. 尾は長い
 4. 甲羅は最大で22センチメートル
 5. 腹側は黒一色

ニホンスッポン

- 生息場所：河川の中下流域や池など
- 来歴：西日本では在来のもと思われる
- 見分け方：
 1. 頭は鼻先がとがって三角になっている
 2. 甲羅は後ろ側が幅広な楕円形
 3. 尾はとても短い
 4. 甲羅は最大で35センチメートル
 5. 腹側は白っぽい

環境省レッドリスト情報不足 岡山県RDB情報不足



幅広な楕円



注意事項

- 「事故やけが、熱中症に十分注意しましょう」
- 「危険な場所や立ち入りが規制されている場所での調査は止めましょう」
- 「水路に転落する等ないように、周囲に十分注意しましょう」
- 「カメはサルモネラ菌を持っていることがあります。触ったらよく手を洗いましょう」
- 「カメはかみつくことがあります。手を出さないようにしましょう」